

2016年度の上半期(4～9月)の 経営状況と下半期の課題



2016年期中第5回理事会



経営改善5ヶ年計画、中長期事業計画、
人事制度の確立と新賃金制度の策定を、
全職員の英知を結集し全力で取り組み
ましょう!

専務理事 平賀 秀法

厚生協会だより

2016年11月21日
第 340 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会
〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：平賀 秀法

はじめに

「わたしたちを取り巻く
環境(診療報酬から見る
入院医療)」

厚労省は「2024年に向
けた医療・介護のあるべき姿
へ」として、①医療機関の機
能の明確化と連携強化、②医
療機関と在宅・介護との連携
強化、③医療提供が困難な地
域に配慮した医療提供体制の
構築を掲げ、2018年の医
療介護報酬のダブル改定に合
わせた第7次医療・介護計画、
第三次医療費適正化計画の策
定を進めるとしています。

入院部分の診療報酬改定で
は、地域医療構想に合わせた
形で急性期の減床として、平
均在院日数の短縮や在宅復帰
率の引き上げなど、一般病床
の基準がより厳しくされ、回
復期や地域包括病床への転換
に誘導されることになりま
す。大病院の外来は専門特化
により患者は紹介状無しでは
定額負担を求められ、医療機
関は人口減少の中で地域医療
をどう支えるのか地域医療構
想調整会議で協調が求めら
れ、地域に必要な医療機能分
担への転換が迫られていきま

す。

2015年度決算での課題

2015年度全日本民医連
加盟法人決算の概要は、全体
的に厳しく、収益が伸び悩ん
でいるなかコストコントロー
ルによって利益を確保してい
る状況でした。厚生協会は
7億円収入を増やしましたが
費用も4億円増加し、結果と
して資金は3億円流出してい
ます。これは、一時金を予算
通り支給できなかった上に下
期から設備投資を凍結した上
での結果です。もし、一時金
や設備投資を予算通り執行し
ていたら大幅な赤字となって
いました。

厚生協会が直面している困
難は、①必要利益確保のため
の予算が組めないこと。②施
設整備に見合う収入が上がっ
ていないこと。③大規模設備
投資や協会債返済のための借
入金が増加したこと。④予算
を達成できていないことで
す。

2016年度中間決算の特徴

上半期の経常損益は△
79百万円の赤字で予算にも大



坂総合クリニック2号館処置室

幅にとどいていません。事業費用は予算内であるものの、入院収益・介護収益の大幅予算未達が上半期の経営に大きく影響しています。2015年度に比較しわずかな増収にとどまっています。特に入院収益が前期より56百万円減収となっていることが大きく影響しています。

事業所別では、坂総合病院での2億10百万円予算未達が大きく、入院日当円・延患者数ともに予算に到達していません。新入院数が不足している状態であり、求められる利益水準の確保といった課題からも残念ながら大きく立ち遅れています。

事業収益は78億20百万円で予算に対し2億37百万円届

いていません。医療収益で1億77百万円、介護収益で61百万円予算未達となっています。

もう一つの特徴は、外来収益が予算を85百万円超過していますがが医薬品費も36百万円超過していることです。化学療法などの高額医薬品による影響が経営上も表れています。

事業費用は97億円で、予算に対し1億10百万円少なくなっています。前年比でも60百万円削減できていることは一定評価できますが、設備投資を控えたことによる減価償却費が前年比で53百万円減少していることを認識しなければなりません。

下半期には総合入院体制加算取得による日当円や病棟再編によるベッド稼働率の引き上げが見込まれますが、いずれにしても「必要利益」確保を目標に、地域の医療情勢の把握や分析、連携強化を図りつつ、坂総合病院としての医療構想を確たるものにしなければなりません。また、泉病院や診療所群の赤字構造も継続しています。医師体制等の



坂総合クリニック1号館受付待合室

主体的力量、地域・共同組織等からの要求やポジショニング、経営課題等を勘案し今後の方向性を打ち出さなければなりません。

上半期は坂総合病院、長町病院、泉病院で施設基準の引き上げが行なわれましたが新たな収益増は相当厳しい状況です。これからは、取得した施設基準を維持しながら費用削減をどう進めるかを重視した取り組みが重要になります。

新たな課題

下半期の課題は、経営改善5ヶ年計画、中長期事業計画、人事制度の確立と新賃金制度の策定です。

上半期の経営成績

(単位：百万円)

	当月実績(A)	予算比	前期比
【事業収益】	7820	△ 238	35
（入院収益）	4385	△ 246	△ 56
（外来収益）	2236	86	87
（介護収益）	785	△ 62	△ 19
【事業費用】	7900	△ 109	△ 60
（人件費）	5111	△ 67	22
（材料費）	894	23	16
（委託費）	633	△ 4	24
（経費）	712	△ 47	△ 38
（減価償却費）	351	0	△ 54
（リース料）	28	△ 2	△ 11
（支払消費税）	172	△ 14	△ 18
〔事業利益〕	△ 80	△ 128	95
〔経常利益〕	△ 80	△ 112	109
〔当期純利益〕	△ 133	△ 166	85

経営改善5ヶ年計画では、内外の環境変化に対応し、今後予定される法人の事業計画を推進できるように現状の経営構造を体系的に改善させること、中長期事業計画では、地域包括ケアシステムや医療機能の分化に対抗できるように、各事業所の位置づけとその事業内容を再構築すること、体系的な人事制度の確立と新賃金制度では、現状における法人の危機的経営状態のみならず、人事制度の不備などがもたらす職員のモチベーションの低下や組織に対する

疑義に対し、体系的な人事制度を確立して経営改善計画との整合性を図りながら新たな賃金制度を整えることです。これらの計画が、法人が抱える構造改革に繋がるよう全職員で知恵を絞りに臨んでいかねばなりません。

事業所別 経常損益比較

(単位：百万円)

事業所	坂合計	長町	古川	泉	診療所群	歯科	ケアST群	事務局	合計
上半期実績	△20	3	△19	△22	△27	8	17	△14	△80
対予算差額	△74	22	△7	△16	△13	2	△17	△9	△112
対前年差額	71	51	△17	17	21	△1	△10	△23	109

第20回泉病院友の会

賀茂神社大駐車場で開催しました。長命太鼓の勇壮な響きが開会を告げ、20回目を記念

9月25日
約1000人

して長谷部誠院長が記念講演し、病院と友の会の歴史を振り返り、病院の未来像を語りました。初参加のよさこい「舞紅萩」は、踊りに合わせて旗が空に大きく舞い、参加者から「すごい」と感嘆の声があがりました。泉館山高校吹奏楽部の見事なアンサンブルには惜しみない拍手が送られ、アンコールに込めて若さに溢れた演奏をやりきりました。



初参加のよさこい
「舞紅萩」



泉館山高校吹奏楽部の見事なアンサンブル

友の会

健康まつり

各地域で大盛況！

祭

第25回仙台南健康友の会

一週間にわたる雨空がウソのようになり、長町4丁目蛸薬師境内で開催されました。

9月25日
1100名超

中央ステージは長町中学校吹奏楽部の演奏で幕を開け、歌や踊り、腹話術やコントなど、手拍子あり笑いありで楽しく進行しました。「安保法制廃止！たいはく集会」ですっかりおなじみになった和太鼓の太田亘さんに、初めて出演していただきました。親子3人でのコソボ、素晴らしかったです。昨年に続き、山田祥子さんのミニライブ。さすが「仙台の歌姫」、声が秋空に響き渡りました。模擬店もすべて完売。みなさん心もおなかも満足していただけたとしたら、うれしいことです。



スマイリーチバさんの
腹話術に大爆笑



熱唱する山田祥子さん

第15回若林健康友の会

オープニングは地元「六郷すずめっこ」のすずめ踊り。日舞や太極拳の競演、笑うヨガ、フラダンス、手話と歌など、見たり聞いた

10月2日
約350名

り実践したり舞台と客席が一緒になって楽しいひと時となりました。医療コーナーの骨密度測定は例年の倍で67名が測定、アロママッサージも好評。恒例の「無料の激うま汁」は予想以上の客で



元気のいい
すずめっこです



凛々しい姿です

とん汁が不足、食べられなかった方もいましたが、うれしい悲鳴。お楽しみ抽選会のクリニック賞は水戸部医師の自腹で10人に救急セットが当たりました。昨年より50名ほど多い参加で、友の会員を5名も増やすことができた成功でした。

第29回大崎健康福祉友の会古川支部

晴天にも恵まれ、病院駐車場で開催。記念講演は、『認知症の理解と対応』と題して、坂総合病院認知症看護認定看護師の阿部育実さんより、分りやすい内容で話いただきました。舞台では、オーブニングを飾った古二小の子どもたちによる二小ソーランや藤裕会の三味線演奏と衣川喜二さんの民謡、古川民族芸能の会の太鼓、かけらライオの歌で大いに盛り上がりました。第二部演芸発表では、会員、職員による唄、踊りなど、会場の皆さんも一体となり楽しみました。また、頸動脈エコー、骨健康度測定、自己血糖測定、簡易物忘れ度チェックも多くの方が体験。ちびっこ薬剤師体験やちびっこ広場には、お子さんを連れたご家族も目立ちました。絵手紙、吹き矢、瞑想座禅、ハンドマッサージも好評。友の会バザーや模擬店も賑わいました。



阿部育実さんが
記念講演

10月2日
1100名超



ちびっこ薬剤師体験

第17回大崎健康福祉友の会加美支部

やくらい文化センターで開催しました。オープニングは、スライドを使って横山医院と友の会の成り立ちと活動が上映されました。記念講演は泉病院診療部長の関口すみれ子医師が「私の体で、私が生きる」と題して話されました。中新田民主医院開設時に関わったことや認知症の話し等、解り易いお話でした。特別出演は、ゴスペルサークルJOY&JOY KIDS、ゆいまーる宮城エイサー会の皆さんによる歌と踊りで会場を魅了しました。第2部は、中新田地区多田川太鼓の皆さんの演奏でスタート。そして会員によるお楽しみ発表会は、歌も踊りも誰

10月16日
400名超

第38回みやぎ東部健康福祉友の会

晴天の下、塩釜ガス体育館を会場に開催。よきこい団体「月詠(つきよみ)」の躍動感ある踊りから始まり、弦楽合奏、民謡、力強いダンス、日本舞踊、コーラスと続きました。昼は、参加者も加わり「よしこの塩竈」や「友の会音頭」を元氣よく踊りました。締めは「七ヶ浜汐見太鼓」の勇壮な太鼓。そして大抽選会。展示コーナーではすばらしい作品に見入り体験コーナーも多くの人が参集。フリマも売れゆき好調。健康コーナーでは、血圧・体脂肪測定、骨密度測定、簡易血糖、肺活量測定、認知症相談コーナーなど設置。特に、骨密度測定は行列ができ大盛況。こども薬剤師体験やちびっこ広場もにぎやか。模擬店もほぼ完売。いろんな方に支えられ成功した「健康まつり」でした。



参加者と一緒に踊った
「友の会音頭」



暑いのでアイスも完売で〜す

10月16日
約1900名

第22回仙台錦町診療所

今年は、ホテル白萩を会場に開催しました。「地域で支える認知症」と題した今田隆一先生の講演では、現状と今後の課題、友の会の関わり方についてもお話があり、参加された皆さんそれぞれ学びの多い時間でした。作品展示コーナーでは、会員さんの自慢の手作り作品が多く展示され、手に取ってみたい、作り方を教えあいました。健康コーナーでは、簡易脳機能検査を行ない、パソコン操作で手間

10月16日
90余名





筋力アップ体操



勇壮な涌谷子ども太鼓

わいで「完売」続出。午後の部は会員さんの楽しい演芸発表があり最後は全員参加しての大抽選会。健康チェックコーナーも大盛況でした。展示コーナーも素晴らしい作品に彩られ、多くの方が見入っていました。来年も元気でおいししましょう。

本小牛田コミュニティセンターで開催されました。記念講演は「誰でもできる筋力アップ法」と題して、坂総合病院健康運動指導士の行方啓文さんに実技を中心に話していただきました。特別出演は、涌谷こども太鼓の皆さんによる勇壮な演奏が行なわれました。県大会準優勝の演奏に会場は割れんばかりの拍手に包まれました。昼食休憩はどの模擬店も大賑わいで「完売」続出。午後の部は会員さんの

第11回大崎健康福祉友の会遠田支部

10月23日
400名超

が見てもプロ顔負けの出来栄で、加美支部が大崎管内に誇れる芸達者な姿を披露。文化水準の高さに会場は拍手喝采。「いがあった!」「参加者の皆さんの顔が生き生きと輝きました。」

関口すみれ子先生が
特別講演



特別出演のゴスペルサークル「JOY & JOYKIDS」

くろはら健康福祉友の会

さわやかな秋の天気に恵まれ、

午前9時すぎには会員さんなど開催を待つ姿が見られました。塩竈や泉からの来賓の方も見えられ菊池実行委員長の口火で開演。地元文字甚句の踊りで始まり、ザ・金成舞姫の勇壮なよさこいが会場を盛り上げました。笑いを呼ぶ手品やクリニックススタッフによる傘回しやバク転の妙技等会場が一つになるような状況。別会場ではバザーや展示作品に見学者から感嘆の声が聞かれ、健康チェックには50人の長い列が。夏の天候不順から野菜の価値が続く中、地元の野菜販売でもほとんど売り尽くすような好況ぶり、昼食のおにぎりや豚汁も美味しく無事に終了することが出来ました。



文字甚句で幕開け



おにぎり・豚汁が美味しい!

今回初めてつばさ薬局の参加もあり、菓の相談コーナーも設けました。演芸は恒例となった「青葉和九輪来」のすずめ踊り、踊る子雀たちに会場から大きな拍手が。会員の太極拳器楽演奏、全員合唱など、楽しく元気な時間を過ごしました。



会員さんの太極拳



熱心に講演を聴く参加者の皆さん

10月23日
300名超



[特別寄稿]



うっとうしさを掃いましょう！ —セロトニン強化法—



坂総合病院医局 廣田 清方

リハビリも、ほめられると機能が高まる

かつて夏の高校野球甲子園大会で準決勝まで進んだ大越投手（七ヶ浜出身）は、いま高校の監督をしていて『以前は、エラーした選手を自分もそうされたように、叱ったり怒鳴ったりしたが、今は納得する説明や対策を話している。叱ったりするとまたミスをしやすいことを知ったので』と語っている。

イーグルス梨田監督は、選手に『負けた試合の新聞記事は見ないで！』と云っている。

脳に強いストレスが加わると、腸内細菌群を悪いほうに変動・衰退させる。（この悪化ルートに2説あって、①迷走神経から直接に、②視床下部→脳下垂体→副腎→腸とのこと。）

旧ソ連や米国の宇宙飛行士が、地上に戻ると、腸内の善玉菌（乳酸菌とビフィズス菌）が減り悪玉菌（クロストリジウム菌と腸球）が増え、また大腸菌の病原性が高まっていた。

ところで、消化管の内壁には1億個の神経細胞（犬の脳細胞数に相当する多さ）があるので、腸は第2の脳—セカンドブレインという。（でも、生命が原始の海に生まれて進化して最初にできたのは消化管であって、その前の部分の神経細胞群が更に進化して数を増やして一つにまとまったのが脳なので、腸こそファーストブレインです。）

1千兆個の腸内細菌群（医学用語は腸内細菌叢）が変動すると、腸粘膜～腸壁で作られる神経伝達物質の量が変化する。

幸せホルモン

その中のセロトニン・ドーパミン・ノルアドレナリンの働きが良いと、気持ちが落ち着き平常心を保つ。従って、この3物質を心の3原色ともいう。特に後の2つを調節するセロトニンを俗に幸せホルモンという。このセロトニンは、脳でも少し作られていて、脳と腸は前記のルートで連絡し合っている（脳腸相関という）。

体調をスタンバイするセロトニンを殖やす手立ては、乳児はあやす・青少年壮年にはスキンシップであり、これは職場環境の改善にも活用されている。

アイリス大山角田工場では、食堂を広く取り窓を大きくして太陽光を入れ、観葉植物を無数に置き、机・椅子も大きい。孤食を避ける意味もある。うつっぽい気分を発散させ、うつ病予防になる。

一般にデスクワークのパソコン業務が1日6～7時間が毎日という人も、そして残業で8～9時間という事業所さえある。パソコン・スマホ等で起こってくるブルーライトめがねの装着はもちろんだが、それでもイライラ・怒りっぽい等を初発とするストレス症状やうつに至る人も出てくる。

セロトニンを殖やすには

①速歩、一定の速さで階段の上下、自転車こぎ、食事やガムをよく噛む、会食、ゆっくりの呼吸、独唱や合唱、スポーツ等のリズム運動、職場や家庭でのヒューマンリレーション（乳児ではお乳の吸綴運動、四肢を使っのハイハイ運動、空腹等を伝える泣くこと等）。

②朝日に当たること（曇りや降雨、マイカー運転中でもよい）。

①に関連して、早めに大リーグに移った長谷川滋利投手は、米国の運動生理学教授から学んで、投球動作直前に1回深呼吸するとコントロールが良くなると云っていた。

その後の研究で、座禅のように吐いてから吸う方が尚セロトニンの殖えることがわかった。セロトニンが体内で作られるには各種のビタミンを必要とするが、ヨーグルトのビフィズス菌がビタミンC以外すべて作ってくれるので、ヨーグルトと果物でカバーできる。

更に、カルシウム・鉄・マグネシウム等が必要なので好き嫌いとらわれないことです。